

# 会津駒ヶ岳山行報告

(山域) 会津駒ヶ岳

(コース) 4月25日(土) かわばたキャンプ場泊

4月26日(日) キャンプ場～駒ヶ岳登山口～会津駒ヶ岳 ピストン

(日時) 4月25日(土)～4月26日(日)

(天候) 4月25日(土): 晴れ(やや霞み) / 4月26日(日): 快晴

(参加者) CL: 内堀・SL: 細谷・狩野(順)・古関・岸野(記録)・大木・安岡  
時田・小宮山

(山行タイム)

4月25日(土) 千葉発 9:50～かわばたキャンプ場 16:10

4月26日(日) キャンプ場発 6:00～登山口下駐車場発 6:30～会津駒ヶ岳登山口 7:00  
～駒ノ小屋 10:20～会津駒ヶ岳山頂 10:45～駒ノ小屋発 11:45  
～駐車場着 13:40

(山行報告)

4月5日(土)

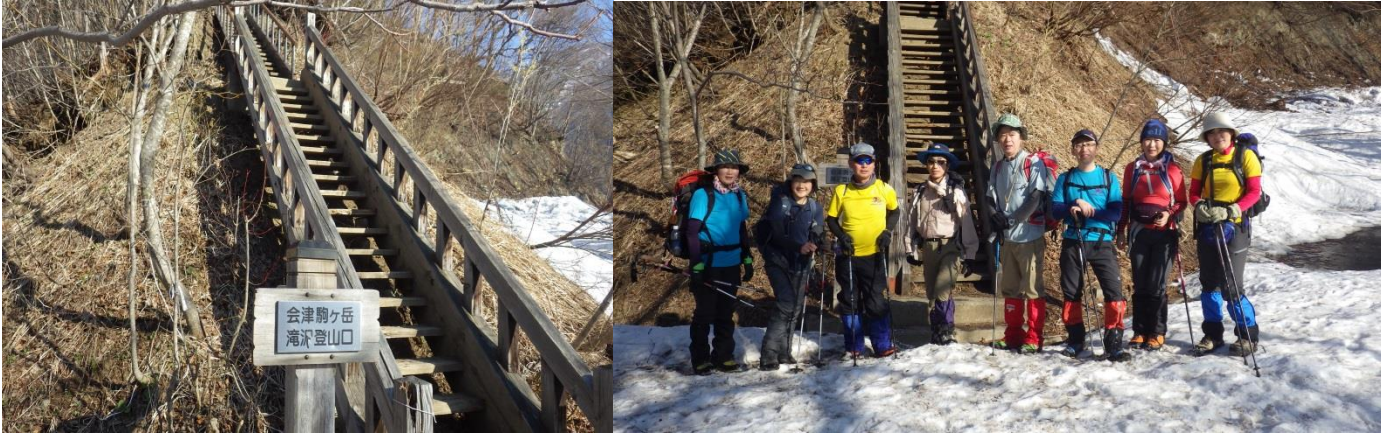
今日は登山道近辺のキャンプ場まで行って泊まるだけなので、出発がゆっくりで非常に楽だった。千葉駅に9時45分集合。狩野さんの車が大きいので荷物を放り込むようにして2台に分かれて出発。少し車が多いようにも思えたが順調に西那須野ICまで行けた。ICを降りて買い出しをすることになっていたのでもスーパーに向かうが、こんな所にスーパーなどあるのかという景色の中を進んでいくと急に町の様相に変わって目当てのスーパーに到着。買い物と昼食を済ませて一気にキャンプ場まで向かう。この道程が結構長かった。さすがに秘境の地、檜枝岐だと思うようである。思わず通り過ぎてしまうようなかわばたキャンプ場に到着。人の良さそうな老夫婦が待っていてチェックインを済ませる。炊事場とトイレの目の前に陣取り早速夜の宴の用意に取り掛かる。女性陣も人数がいるし内堀CLの的確な指示と昨日の下準備のおかげで私も含め何人かの男性陣がうろうろしている間に準備完了。内堀CLいつも下準備までして頂いてありがとうございます。あとで



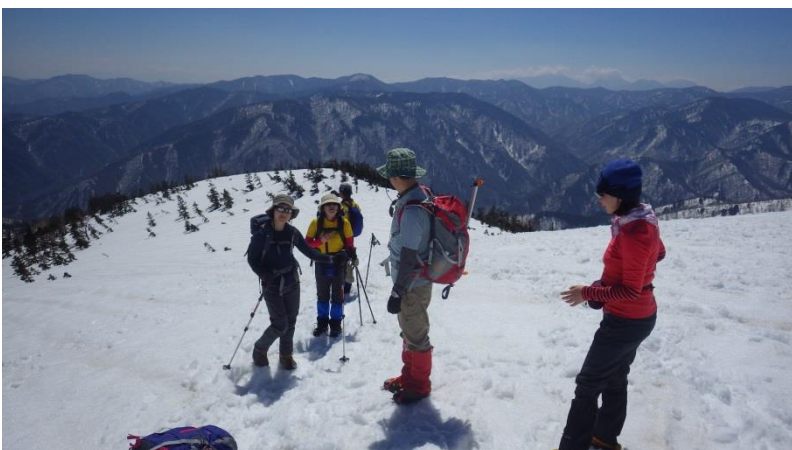
聞いた話だが実は奥さんが下準備をして頂いているようだ。皆さんお酒はしっかり持ってきていたので飲みきれないほど酒もあり、おでん、ポトフ、その他つまみには事欠かなかった。近くの温泉がタダで入れるとのことで大木さんと古関さんは風呂に入りに行った。両人が帰ってくる頃には腹もいっぱい酒もまわってきたので皆寝ることにする。狩野さんと私はまだこんな時間では寝られないと言っている間に私は狩野さんが歯を磨いている間に寝てしまった。

4月26日（日）

朝4時起床。昨日段取りをしておいたサンドイッチとポトフのスープ等で朝食を取り出かける準備をする。狩野さんが二日酔いだと言って苦しんでいた。時田さんは前に飲み過ぎて戻したり大変だったようで今回はあまり飲まずにセーブしたようだ。外の気温はまだ低く眠い眼もしゃきっとする。駐車スペースのある所まで来ると車を止め準備して出発。出だしから雪がまだ残っていて上に行けば結構雪はあるだろうと想像できた。雪と土が交互に現れ会津駒ヶ岳登山口へ到着。



ここから駒ノ小屋までの登りが結構長かった。早い時間は結構アイゼンが効いて良かったが、気温が上がってくるとだんだん雪が緩くなってきて歩きづらくなってきた。時折涼しい風が吹くものの結構気温は高いようで汗がでる。途中内堀CLが入山連絡を忘れたのに気づいたようだがすでに1時間以上経過していた。何度かこのような光景は見たような気がする。



そんなに急登ではないがだらだらと長い坂を登っていくと、あれが稜線だと言いながら何度も稜線ではなかったことを繰り返すうちに小屋の屋根が見えたときにはほっとした。小屋の横に雪の堀テーブルが作ってあり、おのおのそこで食事を取る。



山頂はもう目前なのでザックをデポして空身で登る。内堀さんはやたらとスピードを上げて俺はまだ行けるんだと言いたげだった。おのおの自分のペースで山頂へ登る。と、絶景である。こんなにくっきり山容が見渡せるのもそうそうないだろうと思う。目前に燧ヶ岳、その少し奥に至仏山と尾瀬の山がその美しい姿を現していた。





下山するのが名残惜しい景色だったが、皆明日は仕事なので帰らなければならないので下山する。もう一度駒ノ小屋で一息ついて一気に下山開始。結構なハイペースで下山する。途中小休止を取ったあとまた下り始めた所、少し尾根がずれていたのか最初が結構な斜面を下る場所で何人かが足を滑らせ小さい滑落状態。これは危ないなと思って注意したが私も落ちた。下に狩野さんがいたが私がアイゼンの刃を向けて滑ってくるのを見て驚いてよけた所自分が滑ってしまった。かなりの斜面を滑って行ったので心配したが、普段から尻セードで遊んでいるのが良かったのか怪我もなく済んで良かった。一番の難所を過ぎてあとは緩い雪で歩きづらいことを除けば早く車置き場まで着くことが出来た。

そして帰りは名物そばを食べ、温泉に入って帰葉。

今回の山行は晴天に恵まれとても暖かく、景色が最高に良かった山行でした。